



「絵が得意な子」才能の伸ばし方ガイド



～その才能、正しく育てよう!～

焦らず・比べず・否定せず。才能を伸ばす3つコツ

1 今すぐできる環境づくり



✓ いろんな画材を試せるようにする
(クレヨン・色えんぴつ・絵の具など“選べる楽しさ”を)



✓ いつでも描ける場所をつくる
(机のすみでもOK。「描きたい」がすぐ叶う環境に)



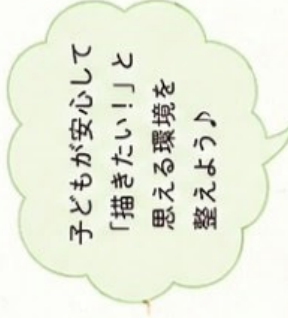
✓ 作品を飾る
(上手・下手ではなく「大切にされている」と感じる事が◎)



✓ 失敗OKの紙をたっぷり用意
(裏紙や大きな紙で“のびのび”描ける安心感)



✓ 「描く時間」を特別扱いしない
(日常の中で自然に楽しめることがいちばん大事)



子どもが安心して「描きたい!」と思える環境を整えよう!



2 やってはいけないこと!



✗ 他の子と比べる
(「すごいね」より「○○ちゃんより上手」はNG)



✗ 「もっと上手く描いて!」言う
(評価されるための絵になってしまう)



✗ 描き方を細かく教えずすぎる
(正解を教えずると、自由な発想が止まる)



✗ 結果だけほめる
(“上手だね”だけだと、失敗を怖がるように)

3 才能を伸ばす声かけ例



「どこから思いついたの?」 → 発想そのものを大切に



「この色、どうやって選んだの?」 → 自分で選んだことに気づける



「ここ、好きだなあ」 → 親の“感じたこと”をそのまま伝える



「次はどんな絵が描きたい?」 → 未来に意識を向けてワクワクを育てる

4 習い事・次のステップを考えるタイミング

1 本人が「もっと描きたい」と言い出したとき

2 家でも長時間集中して描いているとき

3 うまくなりたい! 気持ちが見えてきたとき

親が決めるのではなく、子どもの気持ち^が動いたときがベスト!

最後に一言

絵の才能は「うまさ」だけでなく、**楽しむ力・感じる力・表現する力**そのものです。その芽をつぶさないことが、いちばんのサポート。たくさん認めて、たくさん一緒に楽しんであげてくださいね

もっと詳しく知りたい方はnoteの完全版へ▶